



# SASEBO WEEKLY

2006～2007年度テーマ **LEAD THE WAY** 率先しよう 2006～2007年度 R.I.会長 **ウィリアム・ビル・ボイド**

佐世保ロータリークラブ 会長●中島 祥一 幹事●富永 雅弘  
事務所●佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場●佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

平成 18 年 7 月 19 日

第 2,754 回例会

NO 3

《本日》会員数 80 名(出席免除会員 20 名)・出席 45 名・免除者出席 10 名・欠席 25 名・ビジター 1 名・出席率 75.00 %

《前々回》会員数 80 名(出席免除会員 20 名)・出席 50 名・メイクアップ 20 名 修正出席率 100.00 %

## 会長挨拶

会長 中島 祥一 君

こんにちは。本日で3回目の例会となりました。今回、私は小学校のときの思い出から、大幅な席替えはしませんでした。

日本人は季節を着ると言います。色とは変化の記録だそうです。四季の中に多様な色を取り入れて日本人は季節を着ていると言います。今は何色なのでしょう。

RCの綱領をしみじみと読みましたので、最初のさわりだけを読みます。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。

以下はご自分でしみじみとお読みになってください。

どうもありがとうございました。

## 例会記録

○ロータリーソング「我らの生業」

○卓話者

海上自衛隊 第6護衛隊司令  
1等海佐 大津 雅紀 様

○ビジター

佐世保中央RC 野村 和義 君

## 幹事報告

幹事 富永 雅弘 君

### 1. 国際ロータリー財団管理委員会

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンの伝達

玉野 哲雄 会員、橘高 克和 会員

### 2. 第2740地区ガバナー 田口 厚 君

2006～2007年度国際奉仕部門研修セミナーのご案内(ロータリー財団、財団奨学学友、GSE各委員会)

日時/平成18年9月10日(日)

受付12:00 開会13:00

会場/武雄センチュリーホテル5階

出席者/国際奉仕関係委員会、会長及び担当理事・委員長

### 3. 大村ロータリークラブ

週報

### 4. 大村北ロータリークラブ

創立30周年記念誌

## 委員会報告

■地域発展委員会 委員長 飯田 満治 君

7月17日(月・海の日)、8:30よりパールシー周辺でビーチクリーンアップ作戦を行い、国

立公園の美化に励みました。参加者は以下の7名でした。

中島 祥一会長、富永 雅弘 幹事  
藤井 隆君、古賀 巖君  
米倉洋一郎君、松尾 慶一君  
飯田 満治君



■直前会長 山縣 義道 君  
台南ロータリークラブパスト会長 莊煌山 (Leada) 君より下記の通り連絡がありました。  
昨年7月22日事故で脊椎を損傷し、佐世保RCの55周年記念祝賀を担当していたにもかかわらず、来日することができませんでした。今は杖をつけて歩行することができるようになりましたが、まだリハビリをしている状況です。佐世保RCの皆様にはご心配をおかけしました。くれぐれもよろしくお伝えください。

■前国際青少年計画委員会 委員長 田中丸善弥 君  
マリア・ファロミル・橋本さん帰国

7月14日早朝より出発。空港ではティッシュペーパーBOXを抱えて、わんわん泣いての別れとなりました。見送りに連れて行ったエバンとローラも見送りの時は同様でしたが、昼食では立ち直り、天ぷらをバクバク食べていました。マリアも同じ事でしょう。30数時間のフライト後、無事メキシコシティ到着の電話が山縣ホストファミリーにありました。

交換学生 マリア・ファロミル・橋本さんより無事帰国の連絡の手紙をご紹介します。

田中丸様

拝啓、私が日本での素晴らしい1年間を過ごした後、メキシコシティで数日泊まり、我が家に戻りまして、今日が最初の日です。

貴方の助けに対して、感謝しております。

貴方は色々な場所や沢山の文化的なこと、そして楽しい経験をさせてくれました。私はとてもラッキーでした。

家族一同、いつか貴方がメキシコに来てくださることをお待ちしております。

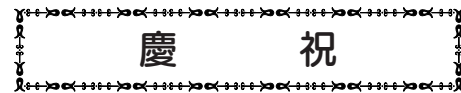
敬具

マリア

### ■国際青少年計画委員会

委員長 加納洋二郎 君

インドからの留学生だったジナン君から、来週28日に佐世保入りするという事で連絡がありました。つきましては、29日の朗遊会・懇親会に参加させて、皆様との再会の場と致したく考えております。是非ご参加の程お願い致します。



出席委員会 吉松 哲範 君

### ○永年会員表彰

高橋 章文君 (43年)

岡 英樹君 (28年)

### ○出席100%表彰

飯田 満治君 (16回)、千住 雅博君 (12回)

山下 尚登君 (9回)、川富 正弘君 (7回)

三浦桂一郎君 (6回)、溝口 尚則君 (1回)

松尾 文隆君 (1回)



親睦活動委員会 隈元 勝則 君

佐世保中央RC 野村 和義君

2週続けて伺う事となりました。多分、来週までお邪魔する事になりそうです。よろしくお願ひ致します。

**西村正一郎 君、福田 金治 君**

海上自衛隊 前インド洋派遣部隊指揮官 第6護衛隊司令 1等海佐 大津雅紀様の卓話に期待して。

**池田 豊 君**

私、この度IYFR(インターナショナル・ヨットイング・フェローシップ・ロータリアンズ)西九州地区の会長になりました。ヨット・レジャーボート・つり等、海のレジャー関係のロータリアンの集まりです。

**中島 祥一 会長、円田 昭 君  
長島 正 君、福田 金治 君  
有蘭 良太 君、飯田 満治 君**

IYFRの会長に池田 豊さんがなられました。今後のご活躍を期待します。

**田中丸善弥 君**

ラホヤRCの友人田名さんからのメッセージ

佐世保ロータリーの皆さんお元気ですか？私の家内、アリスはライオンズの「サンディエゴ・ゴールドトライアングル・クラブ」に所属しております。そのアリスがこの度、同ライオンズクラブの4-L6地区ガバナーに3度目の挑戦で選挙の上、選ばれました。来る2006年7月28日、ラホヤ マリオットホテルにて就任式の運びとなりました。ここにご案内いたします。

**高橋 章文 君、飯田 満治 君、山下 尚登 君  
川富 正弘 君、三浦桂一郎 君、溝口 尚則 君  
松尾 文隆 君**

永年会員表彰並びに出席100%表彰ありがとうございます。

**ロータリー3分間情報**

**ロータリー情報委員会 委員長 井上 齊爾君**

ロータリー情報委員会の任務は、全会員に、特に新会員がロータリーを十分理解し、ロータリー会員の特典と責務を把握できるよう、援助することとなっております。



ロータリアンの特典として記されているもの

1. 同じような理想を抱く人との親睦ができる
2. 所属クラブで新会員を推薦できること
3. 地域社会と自分の職業に意義ある奉仕が出来る
4. 国際的友好を深めるまたとない機会である
5. 自分と異なる事業や専門職務の指導者との知り合いを広めること
6. 例会で感動的なプログラムに参加することが出来る
7. 地域社会に奉仕しながら指導力を磨くこと
8. 地域や世界各地のロータリークラブでメークアップして、そこのロータリアンと知り合いになる機会がある
9. 地区大会と国際ロータリーの国際大会に参加出来ること

以上、それぞれの特典には責務が伴うものです。例えば新会員を推薦することは特典であり、また責務であります。ということです。

(「ロータリーの手ほどき」より)

**卓 話**

**『インド洋で考えたこと』**

海上自衛隊  
前インド洋派遣部隊指揮官  
第6護衛隊司令



1等海佐 大津 <sup>まさとし</sup> 雅紀 様

海上自衛隊第6護衛隊司令の大津でございます。佐世保ロータリークラブをはじめ市民の皆様には日頃から大変お世話になっております。私、昨年4月から現在の職にあるわけですが、昨年11月から今年4月まで、佐世保在籍の

ニコニコボックス	◇				
		本日合計	19,000円		
		累 計	99,000円		

「きりさめ」と横須賀在籍の補給艦「ときわ」の2隻を率いまして14次隊としてテロ対策特別措置法に基づくインド洋方面での活動に従事してきました。今回は、例会でこの際の活動についてお話する機会を頂きましたので、派遣中に感じたことなどを中心に紹介いたしたいと思います。

海上自衛隊のこの活動も平成13年11月に第1回目の部隊が佐世保から派遣されて以来4年半が経過し、現在は15次として佐世保在籍の補給艦「おうみ」と呉在籍の「いなづま」が活動中であり、6月末には16次隊として呉から「さざなみ」が、舞鶴から「ましゅう」が交代のため出港したところです。

洋上における補給は、補給艦の真横30～50mの距離を同じ速力で航行する受給艦にホースを渡し、長い場合5時間にもわたって等距離、同速力で維持して並走しながら燃料を供給する作業で、隊員の練度、忍耐を要する作業です。外気温度は夏場では40度を超え、甲板上は70度に達することもあります。しかも、国籍不明の航空機や船舶に対する警戒態勢も維持しなければならないという状況は、隊員にとっても非常に厳しい環境であることをご理解いただきたいと思います。

このような環境下で、活動開始以来一度の空白期間もなくテロとの戦いに従事している艦艇に対して、回数にして600回以上、艦艇用燃料44万キロリットル以上を整齊かつ確実に補給支援活動を継続してきました。また、自艦での燃料清浄能力に制限がある受給艦に対しては、かれらが必要とする品質まで清浄した燃料を提供するなど、受給艦の立場に立った活動により、以後の補給について海上自衛隊を指定する国もあったほどです。このような海上自衛隊の対応に対し、米海軍をはじめ関係諸外国からも高い評価を得ていると派遣現場で実感してきたところです。

テロとの戦いに各国が自主的に参加し、それぞれのできることを誠実にやり、良い仕事

をすればするだけの評価が得られる。その結果国際社会において信頼を勝ち得ると同時に、テロとの戦いやイラクへの対応において中心的役割を担っている米国との信頼関係にもよりよい影響が生まれると思います。今回の北朝鮮によるミサイル発射に対する対応において、日本が主導的役割を果たせたことにも少なからず貢献できているのではないかと感じています。これまで派遣に参加した海上自衛隊艦艇は延べ53隻、人員にして延べ1万人以上にのぼります。多い者では5回という隊員もいるようですが、海上自衛隊の総員が約4万5千人であり、単純に平均すれば、4.5人に一人が派遣経験があることとなります。さらに、艦艇乗組員ということに限定すれば2～3人に一人は経験者という勘定となります。この内、佐世保からは延べ20隻が派遣されており、断然トップを占めております。派遣された隊員は勿論一生懸命に頑張っております。しかし、隊員個々が後顧の憂いなく任務に専念できるのは、家族は勿論のことその周囲でともに支えていただいている地域住民の方々のお陰であり、海上自衛隊を支援して下さる佐世保ロータリーはじめ市民の方々のご支援によるものです。今後ともこのことを忘れず任務の完遂に全力を尽くして参りたいと思いますので引き続きご支援をお願いいたします。

.....

**\* 次週例会予告 \***

卓話 山縣 義道 直前会長

(今週の担当 小川 洋)

**クラブ会報委員会**

委員長	古賀 巖	委員	小川 洋・長富 正博
副委員長	隈元 勝則		松尾 文隆・町 孝